



— 6人の議員が登壇しました —

議 員	質 問 事 項	ページ
上遠野 広 一 議員	今後は入場料を徴収し無料駐車券の廃止を	10
久保木 源 議員	村内の道路整備は	10
瀬 谷 一 男 議員	若者定住のための低価格住宅の造成を早急にすべき	11
野 崎 健 男 議員	高齢者が安心して暮らせる収入対策を	11
高 橋 七 重 議員	学校給食について	12
	役場跡地の活用について	
	若い職員の声を反映させた 「住むなら平田村」づくりの策定を	
	村営住宅の建設計画について	
渡 邊 徳 幸 議員	村内に温泉施設をつくり村民の憩いの場に	13
	廃校となる中学校の跡地利用は	



上遠野広一議員

問

芝桜まつりのピーク時には約2kmの渋滞が発生しており、早急に駐車場を整備すべきと考えるが伺う。

答

産業課長

渋滞を招く原因の一つに、駐車場不足が考えられます。今後は駐車場の拡張整備計画と合わせ、施設内の整備を進めていきます。施設が整備された時には、駐車料から入場料に切り替える予定です。無料駐車券について

**Q** 今後は入場料を徴収し無料駐車券の廃止を

**A** 駐車場や施設が整備されれば入場料徴収に切り替える予定

は、再度お越し頂くために必要な営業の一つとして対応しております。

再問

栃木県のあしかがフラワーパークは、年間の入場者が200万人で、20億円の収入がありますが、参考にはどうか。また、シルバー人材センターの雇用も継続すべきと考えるが伺う。

再答

産業課長

あしかがフラワーパークの運営実態については、今後参考にして実施していきたい。シルバー人材センターの協力を頂きながら進めていきたい。

再々問

アジサイ、ユリ園が観

光イベントとして定着すれば、入園料の設定も必要と考えるが。

再々答

産業課長

今年はおくしまアフターDCとして、桜が終了した後の観光地が乏しいため、県の観光交流課と協議しながら無料開放にいたしました。

再々答

村長

アジサイの苗がまだ小さいため、開放を2年後と考えていたが、県からの強い要望もあり、アフターDCの中でお客さんが沢山来てくれる事を期待しています。料金設定につきましては、実行委員の皆さんと鋭意協議していきたいと考えています。

Point

\*アフターDCとは  
アフターディスプレイネーションキャンペーンの略。地元観光関係者と自治体が、JRGグループをはじめ全国の旅行会社などと連携しておこなう観光キャンペーンです。福島では三ヶ年にわたり実施しており、今年が3年目（アフターDC）となります。



久保木 源議員

問

村内には11カ所の道路が継続事業となっているが、この状況をどう考えるか。また、新年度は新規着工の予定はあるのか。また、深谷小松原線は歩道の整備を進めるべきではないか。

答

地域整備課長

11路線については、費用対効果や財源の確保等を含めて十分に検討しながら工事を進めていきます。新たに7路線の工事を予定しており、2路線は社会資本整備総合交付

**Q** 村内の道路整備は

**A** 財源を確保しつつ 工事を進める

金事業での工事を予定し、千300万、これに過疎債を4千万充当します。社会資本整備総合交付金事業には1億9千万のうち、交付金を1億2千200万、さらに過疎債を6千870万充当、辺地対策事業では4千250万を計上します。

再問

具体的財源はどうか。

再答

総務課長

単独事業（道路維持工事）は当初設計も含め6



△安全のため歩道の整備を



瀬谷 一男議員

問

核家族化により村外に  
住居を新築する傾向があ  
る。生活や子育てのしや  
すい住宅環境を求めてい  
る様子がうかがえる。定  
住対策のひとつとして、  
住宅新築者に対する支援  
や村外への通勤者の支援  
を含め、小規模で低価格  
の宅地が必要ではないか。

答

総務課長

新築者への支援、村外  
者への通勤支援は、若者  
定住対策の一つとして考  
えています。宅地につい  
ては、村内にはニュータ  
ウンなど、まだまだ土地  
があると認識しています。

再問

ニュータウンよりも低  
価格の宅地が必要だと考  
える。他町村ですすでに  
支援策を打ち出して実施  
しているところもある。  
早急に対処しなければ、  
取り返しのつかないこと  
になる。また、定住対策  
のひとつとして、村長は  
公約でベッドタウン化の  
必要性を説いている。こ  
れについて、具体的な構  
想などはあるのか。

再答

総務課長

行政側としてはニュー  
タウンのほか、空き地、  
更地、農振除外地といっ  
た土地の情報提供や、相  
談業務を考えています。  
また現在、使用可能な遊  
休地もあり、宅地として

**Q** 若者定住低価格  
住宅団地の造成を

**A** 何らかの定住対策をしたい

の利活用も考えています。

再答

村長

ベッドタウン化するた  
めには多岐にわたった政  
策が必要です。住宅を持  
つための施策として低価  
格の宅地造成もひとつの  
方法ですが、過去に村の  
住宅地を購入した人の事  
を考えると、家を建てる  
方に何らかの補助をする  
ほうが、理解を得られる  
のではないかと思います。  
早急に対処すべき問題で  
あるので、現在対策を検  
討しているところです。

問

高齢者が安心して暮ら  
せる収入対策は考えてい  
るのか。

答

健康福祉課長

収入を増やす環境づく  
りのため、道の駅への農  
産物の出荷拡大や、シル  
バー人材センターでの短  
時間の労働の雇用拡大を  
検討したい。又高齢者に  
対する有償ボランティア  
についても検討していま  
す。



野崎 健男議員

再問

高齢者が働ける環境整  
備には産業課が主導とな  
って対策を進めてはどうか。

再答

産業課長

再答

村長

農業収入として軽作業  
でできる農業生産体系に  
についても農政連絡調整会  
議で検討しています。

各課共通の課題として  
必要な政策だと思えます。  
健康福祉課、産業課が連  
携し高齢者の所得向上を  
進めてゆきたい。道の駅  
出荷者の中では高齢者も  
高額収入を上げている方  
も多いので利用していた  
だきたい。

**Q** 高齢者が安心して  
暮らせる収入対策を

**A** 各課で連携し高齢者の  
所得向上を進める

再々問

産業の6次化対策から  
住みよい村づくり対策を  
立ててはどうか。

再々答

村長

6次化対策の一環とし  
て農産物加工施設の建設  
はぜひ作らなければと考  
えている。誰でも利用で  
きる加工所の建設を前向  
きに進めてゆく。

Point

\*農政連絡調整会議とは  
産業課、須賀川農業普  
及所、JA職員による3  
者会議で、農政全般にわ  
たり意見交換や情報交換  
をしています。





高橋 七重議員

問

1 点目。昨年から学校給食費の3分の1を助成しているが、思い切った無償にしてはどうか。

問

問をした際に、関係各課と連携をとり、使用する食材の生産体制を整える」と答弁しているが、その後、どの程度進んでいるか。

Q

学校給食費は無償に。地産地消はどこまで進んだのか

財政事情を考慮し検討。20品目まで拡大

答

1 点目。全額補助までは考えていませんが、財

教育課長

問

私が実施したアンケートの介護に関する質問で「特老の増床を望む」との回答が多かった。ま

A

土地を無償提供しての増床計画を伝えている

Q

役場跡地は特老によもぎ荘の増床に

答

た、よもぎ荘への入所待機者は、約60人いる。庁舎移転により、よもぎ荘に隣接する敷地が確保できるとは、増床計画を提案してはどうか。

村長

増床の計画はもちろん、よもぎ荘に隣接する旧庁舎の敷地の一部を分筆し、無償貸与してもいいと、石川福祉会に申し入れし



問

人口減少をどうしたら食い止められるか。若者の流出をどうしたら減らせるか。そのための具体的な政策を各課の若い職員、特に子育て中の職員を中心にプロジェクトチームを作り、案を出してもらってはどうか。

A

いろいろな部分で反映されている

Q

若い職員の声を「住むなら平田村」づくり策定に生かすべき

答

庁内には「ふるさとづくり推進プロジェクト委員会」があり、構成メンバーは比較的若く、子育て中の職員が多く参加しています。委員の意見は、例えば旧永田小学校の跡地利用など、いろいろな部分で反映されています。人口減少対策の具体

総務課長

問

策として、子育て支援では、特に若い夫婦の応援事業など意見が出されています。



Q

足りない村営住宅の整備を急ぐべき

A

民間事業者の力を借りることを前提に計画中

再問

に検討していく。

再答

民間任せだけでは、現在39名もいる入居希望者の解消にならない。また、住宅管理費（修繕費）が年々減額されている。観光面に力を入れるばかりではなく、人口増加対策も急ぐべきではないか。

村長

問

解体され更地になった切山住宅の跡地は今後、どのように利用されるのか。

答

民間業者による賃貸住宅の建設用地利用と個人住宅建設のための用地として、分譲も視野に入れ

地域整備課長



渡邊 徳幸議員

問

高齢者の健康維持や村の医療費削減効果も期待できるので、村内に温泉施設を設け、村民の憩いの場を作ってはどうか。

答

総務課長

温泉施設があれば、村民に親しまれる憩いの場になると考えられますが、本村が位置する阿武隈山系は温泉資源が期待できない地域です。そのため、施設建設となると多額の費用が予想される為、現段階では大型事業も山積しており、将来的には検討したいところです。

再問

他町村では沸かし湯の温泉施設を作り、コミュニ

Q 村内に温泉施設をつくり村民の憩いの場に

A 将来的には検討したい

Q 廃校となる中学校の跡地利用は

A 地域の活動拠点として最善の利用法を考えます

問

中学校統合により廃校となる2校の跡地利用について、村としてどのような活用を模索しているのか。

再答

村長

村民からそういった要望が出ている話も聞いています。実際に温泉施設を運営している町村へ赴き、燃料やランニングコストなど視察もしています。健康や福祉の面で活用できるので、国の補助金などを探しつつ、できる時期が来ればやりたい施設であると考えています。

答

総務課長

廃校となる両中学校は、地域にとつて身近な公共施設であり、公共の財産です。再び地域の活動拠点として有効活用できるよう、住民の声を反映させつつ、庁内の若いプロジェクトチームにも投げ

かけ、最善の活用を考えます。

再問

両校とも建物としてしっかりしているが、廃校となれば時間がたつにつれ老朽化が進む。また、地域の中心的な施設であるので、職員だけでなく、地域住民総ぐるみでのプロジェクトチーム、検討委員会を早急に立ち上げるべきではないか。

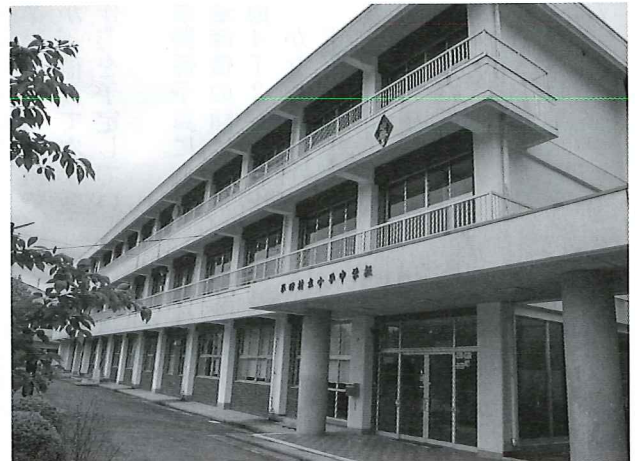
再答

総務課長

まずは庁内のふるさとづくり推進プロジェクト委員会で議題とし、そこから出された意見を各委員会などにも投げかけるという形で、両校の活用について検討を始めていきたいと考えています。



△旧小平中体育館の利用予約は公民館で行っている



△今後の利活用が検討される旧小平中学校